

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
（秘密厳守）

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
（秘密厳守）

今月の家庭の日 6月18日（日）

日頃、家族のために関わってくださっている全ての方に感謝すると共に、家族全員が一堂に会し、家族団らんの一時を過ごしてみましよう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail：youth@city.chikuma.nagano.jp

相談員がメールでお答えします。
（秘密厳守）

「イカのおすし」

千曲市少年育成センター所長 安西治夫

春先、地元の小学校におじゃまする機会があり、会議室黒板の横に張り出されていた大きな文字が目につきました。避難指導に使われているもので「お・は・し・も」と大きく書かれていました。「お」はおさない、「は」ははしらない、「し」はしゃべらない、「も」はもどらないというもので、避難の際に気を付けたい基本行動として子ども達に分かり易く指導しているなと感心しました。

他にも、地震発生時に頭や身体を保護する行動として、「お・も・に」（身近にある物で頭をおおう、机などの下にもぐる、机の脚などをにぎる）というものがあります。頭文字を使った「PTA」などの略語や、「5W1H」という情報伝達のポイントをまとめたものもあります。職場では「報告・連絡・相談」を分かりやすく「ほうれん草」に掛けたものにして身近で使われています。標語などを頭文字の略語を使って作ってみると楽しく覚えやすいですね。

子どもを誘拐などの犯罪から守るための防犯標語に「イカのおすし」というものがあります。これは十年位前に子どもが犯罪被害に巻き込まれないために警視庁が考案した防犯標語で、「イカ」は知らない人についていけない、「の」は知らない人の車にのらない、「お」は助けて！とおおきな声を出したり、防犯ブザーを鳴らしたりする、「す」はすぐ逃げる、「し」はどんな人が何をしたかお家の人にしらせる、という覚えやすい標語です。

依然として通学中の児童生徒が犯罪被害に遭う事例が報告されています。小学生のお子さんやお孫さんがいる家庭では、この「イカのおすし」を、お子さんと一緒に約束ごととしてぜひ確認しておきましょう。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！
— 作ろうよ心がつながる家族の記念日 —

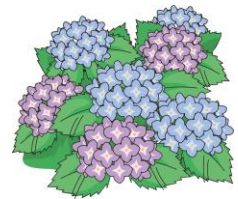
～ 5月の定例補導委員会議より～

5月11日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

- 1 千曲警察署生活安全課より 「JKビジネス」、「路上スカウト」の危険性について
 - ・「JKビジネス」は都会の話ではすまない。遅れて地方にもやってくる。インターネットで地方の子どももつながる。手軽なアルバイトではなく、児童買春等の被害にあうなど危険なアルバイト。
 - ・アダルトビデオの出演強要：インターネットの利用により、地方の子がいつ被害に遭うかもしれない。今は都会のような街頭スカウトはないかもしれないが、遅れて地方にくる可能性あり。共に、知識として知っておきたい。「それ違反かも」と感じたときは、最寄りの警察署・交番へ。
- 2 4月の補導活動を振り返って
- 3 5月から8月の補導日程について：定例補導（祭りの巡回を含む）、環境チェック、合同補導等
- 4 環境チェック活動について：7月5日～11日まで実施
- 5 夏季休業中の各校PTAとの合同補導について：7月26日から8月4日まで実施



補導日誌から



地域の皆さんに支えられて

4月17日（月） 3:00pm～5:30

戸倉小学校では、校長先生から「卒業生65名に対して、新入学生は44名と年々少なくなっている。登校時間帯は、子ども達が安全に横断できるように見守り隊が誘導している。下校時間帯に長年見守ってくれていたボランティアの方が高齢で亡くなった。地域によってボランティアの人が不足してきている。」と、学校の様子などをお聞きしました。

心配もあり期待もありのスタート

4月17日（月） 3:00pm～5:30

更級小学校を訪問し、校長先生より「新入生は31名で、ここ3年間交通事故もなく良い状態が続いている。登校時は上級生と一緒にだが、下校時はいないので心配。子ども達には、何かあったら携帯しているブザーを鳴らすように指導している。」などのお話をお聞きしました。次に戸倉上山田中学校を訪問しました。校長先生より「最近では、LINE等スマホなどへの書き込みによる問題も多少はある。しかし、生徒は純粋で運動も盛ん。活気もあり、先が楽しみ。」とのお話がありました。

平和で怖いくらい

4月18日（火） 3:00pm～5:30

学校訪問の前に、公園を回りました。三本木公園では、5年生の男子2人がボールで遊んでいました。上山田小学校に行くと、下校中の女の子が手を振ってくれました。校長先生と教頭先生が対応してくださり、昔の話などもできてよかったです。学校はとても平和で怖いくらいだとおっしゃっていました。

6割が自転車通学…事故に注意

4月18日（火） 3:00pm～5:30

屋代中学校を訪問しました。「いじめ」に該当するような事案は全くないとのことでした。屋中の伝統の挨拶、清掃、花等の手入れは徹底しているように思われました。生徒の6割が自転車通学だそうです。事故には気を使っており、注意すべき事は常に話題にし気をつけるよう指導しているとのことでした。

スムーズに始まっています

4月20日(木) 3:00pm~5:30

更埴西中学校を訪問しました。校長先生、教頭先生に対応していただきました。稲荷山地区の補導委員さんと合流し、自己紹介後6名で話し合いをしました。松代町西条にあった児童養護施設が今年度から稲荷山に移転し、子ども達が新しい生活を始めています。新しい環境での生徒さんの様子をお聞きしたところ、問題なく仲良く過ごしているとのことでした。

風にめげない子ども達

4月24日(月) 4:00pm~6:00

佐良志奈神社、黒彦中央公園、更級小学校に人影はありませんでした。更級地区は22日(土)が参観日だったのでこの日は振替休日。ぴかぴかの1年生を見られず残念でした。更級児童館では12人が新任の職員さんと元気に遊んでいました。3人が鬼太郎将棋なるものをやっていて、興味深く見させてもらいました。小船山公園では、小さな子ども達が風にもめげず遊具で元気に遊んでいて、とても頼もしく思いました。

地域にとけこむ施設

4月26日(水) 4:00pm~6:00

稲荷山の児童養護施設を表敬訪問しました。支援部統括の方に施設の案内とお話をお聞きしました。現在施設では、幼児から高校生までの子ども達が生活をしています。補導委員にお願いされたことは、もし生徒が悪い事をしているのを見かけたら真剣に怒ってほしいし、もし良い事をしているのを見かけたらしっかり誉めてほしいとのことでした。学園の子ども達や施設が地域の中にとけこんでいくようにと、スタッフの皆さん全員が頑張っているように見えました。

体力作りはフラフープで

4月27日(木) 4:00pm~6:00

八幡児童センターにおじゃましました。今年の登録の子どもは45名ですが、その内の21名が1年生とのことです。今年度は、学習支援と体力づくりを目標にし、宿題は児童センターで済ませて帰宅させ、体力づくりは主にフラフープをやるそうです。奥では宿題を済ませた子ども達が遊んでおり、高学年の子ども達は宿題をやって



編集室の窓

育て若い芽、地域の財産に

今年も、29年度のリーダー研修会が始まります。その事前学習として、この2月に各地区の子ども会のリーダーとなる5年生が集まって子ども会情報交換会がおこなわれました。そこにジュニアリーダー養成研修会で今まで学んできた4名の中学生が、お手伝いに来てくれました。

- ・ジュニアリーダー研修会で学んだことが役立てることができそうだから。
- ・みんな一度は子ども会に参加していた。子ども会にとって、中学生は非常に大きな戦力だと思う。
- ・ジュニアリーダー研修会の時に、高校生のスタッフさんがいろんなことを優しく教えてくれたから、私もそういうことをしたいなと思っていたから。

このような思いで参加してくれました。自分の時間を割いて、人のために時間を費やす…ジュニアリーダー養成研修会に参加し活動したことで、ボランティア精神が更に育ってきたことが分かります。

この中学生以外にも、リーダー研修会のお手伝いをしたいという声が上がっています。また、高校生になっても今後はスタッフとしてお手伝いをしたいということで、県の研修会に参加している高校生もいます。確かに育つ中学生がいます、高校生もいます…この若い芽が、今後地域の財産になります。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていています。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

私には、小学校の頃からずっと憧れていて今でもなりたい職業があります。それは保育士です。保育士になりたいと思ったきっかけは、私が保育園に通っていた時の先生との出会いがあったからです。実は私が保育園に通っていたころは、すごく泣き虫で毎日親や先生を困らせていました。特に、朝は保育園に行くことが嫌で、教室に入るだけで長時間かかったそうです。そのような時、すぐに対応してくれたのが担任の先生方でした。泣いている私を優しく抱いてくれたり、教室から人形をもってきて気分をまぎらわせようとしてくれたりしました。そして、私が泣かないで保育園に行けるようになった時は、いつも褒めてくれたのを今でも覚えています。その時の思いが強く残っていて、私も誰かのために力になれる人になりたい、そして、子どもたちに喜びや笑顔を与えられる職業に就きたいと思うようになりました。

中学生になってもその夢は変わることはありませんでした。そのこともあり、職場体験学習では保育園でお世話になりました。三日間という短い期間でしたが、本当に多くのことを学ばせていただきました。保育園の先生方は、常に子供たちに寄り添い、常に周囲に気をくばり、何かあったらすぐに対応をしている姿がとてもかっこよく見えました。本当に良い経験をさせていただいたと思っています。そして、自分の夢への思いをさらに強くすることができた職場体験学習となりました。

最後に、小さいころからの夢を叶えるためにも、日々成長していきたいと思っています。そのためにも、高い目標を持ち続け、目の前にある進路に向かって勉強や部活動を全力で取り組んでいきたいと思えます。

3年 KK

私の夢は伊那西高等学校の新体操部に入ることです。これは、私の夢でもあり、ただ一つの大きな目標でもあります。私が伊那西高等学校の新体操部に入りたいと思ったのは、ある新聞記事がきっかけです。私は小学校二年生から新体操を続けていて新体操が大好きです。ある日、新聞を読んでいた時、「猪又涼子さん」という伊那西高校出身の強い選手の活躍について書かれていたことがありました。それを見て、私も猪又さんのように強く輝く選手になりたいと思うようになりました。そして、猪又さんの出身校でもある伊那西高校の新体操の先生にいろいろなことを教えてもらいたいと願うようになりました。

現在私は、千曲市にある新体操クラブに所属し、力を伸ばしています。けれど、私のクラブはまだまだ力不足でなかなか目立つことができず、実力のあるクラブの壁が厚くて乗り越えるのが大変です。また、人数の少ないのも大変な面です。しかし、その状況に負けないで、私は自主練習を取り入れて、日々努力をし続けています。それに、今年の八月頃に私はキャプテンになるので、チームが一つとなってクラブの力が少しでも上がるように責任を果たしていきたいと思っています。

少しでも力が伸びて、印象に残るクラブにするには、「積極的・明るく・仲が良い」クラブに仕上げるのが大切だと思います。来年までの二年間で役割を果たして、少しでも私や私たちのクラブが上手だと思ってもらえるようにしたいです。だから、この二年間が私にとっての「勝負の年」になります。

伊那西高校に行くためには、新体操の技術も大切ですが、勉強の方も頑張っていかなければなりません。新体操と勉強、この二つを両立させるのはなかなか難しいと感じています。だから、今後の自分の課題は、キャプテンとしてクラブの向上を目指すこと、勉強への意欲を高めることです。私の「勝負の年」は始まっています。油断は禁物です。これから自分に厳しくして、二年間を過ごしたいです。そして、伊那西高校でさらに力を伸ばし、大きな舞台に自信をもって立ちたいと思えます。さらには、日本の代表に選ばれることを将来の大きな希望にしたいです。

2年 KM